

単年度下水道事業評価シート(令和元年度)

1 事業情報

担当課

下水道建設課

実施方針	I 快適な生活環境の実現	施策目標	1 生活環境の改善や河川の水質保全に努めます	施策	② 整備困難地域における下水道(汚水)整備の検討
------	--------------	------	------------------------	----	--------------------------

2 事業評価の概要

視点	内容							
何のために【施策目標】	生活環境の改善や河川などの水質を保全するため、下水道(汚水)の整備が進んでいない地域においては、引き続き、下水道(汚水)の整備に取り組みます。							
どんな問題を解決するか【施策】	道路幅員が狭い場合や地下埋設物の影響などにより、下水道管を埋設する工事が難しい場所については、効率的な整備方法を検討するとともに、新工法の採用について研究します。							
どのような道筋で【目標】(単年度)	①新工法説明会等に参加し研究を進めるとともに、部内での情報共有を行う。 ②道路工事調整会議への出席やガス事業者等の他埋設企業からの事前協議書の確認を行い、下水道管工事に支障を来さないよう部内での情報共有を行う。							
期間	平成31年4月		～		令和2年3月			
いくらかけて【予算額・決算額】	予算額				決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	0	0	0	0	0	0	
	工事費	0			0			
	原材料費	0			0			
	委託料	0			0			
	賃借料	0			0			
	その他	0			0			
人件費	3,555		3,555	3,555		3,555	100%	
どういふ成果を達成するか【成果指標】	①新工法説明会等に参加し研究を進めるとともに、部内での情報共有を行った状態。 ②道路工事調整会議やガス事業者等の他埋設企業からの事前協議書の確認を行い下水道管工事に支障を来さないよう、部内での情報共有を行った状態。							

3 プロセス結果の検証

評点	視点	内容					
中間評価 □	上半期何をどのように執行したか【現状把握】	①下水道に関する幅広い分野の最新技術・機器等を展示している下水道展に参加した。 ②道路工事調整会議やガス事業者等の他埋設企業からの事前協議書の確認を行い下水道管工事に支障を来さないよう、部内での情報共有を行った。					
76点	下半期改善すべき点は何か【改善目標】	①新工法説明会等に参加し、引き続き研究を進め、部内での情報共有を行う。 ②道路工事調整会議への出席やガス事業者等の他埋設企業からの事前協議書の確認を引き続き行い、下水道管工事に支障を来さないよう部内での情報共有を行う。					
	どのくらい進んだか【進捗度】	執行(契約)事業費 予算執行率	0千円	事業進捗度	自己評価 評価者結果	B 予定通りの成果を上げた B 予定通りの成果を上げた	
終了時評価	どういふ成果を達成したか【達成状況】	①下水道に関する幅広い分野の最新技術・機器等を展示している下水道展や、新工法説明会等に参加した。 ②道路工事調整会議やガス事業者等の他埋設企業からの事前協議書の確認を行い、下水道管工事に支障を来さないよう、部内での情報共有を行った。					
77点	次年度に解決すべき点は何か【次年度解決策】	道路幅員が狭い場合や地下埋設物の影響などにより、下水道管を埋設する工事が難しい場所について、引き続き効率的な整備方法を検討するとともに、新工法の採用について研究する。					

単年度下水道事業評価シート(令和元年度)

4 改善経過の点検と評価

視点	項目	評点	5 常に全員	4 概ね多数	3 一部	2 あまり~ない	1 ほとんど~ない	中間	終了	
人員	意識	この事業による社会全体への貢献を職員は常に意識していますか？						4	4	
	適材適数	業務の適正に応じた柔軟な偏りのない業務分担を行っていますか？						4	4	
中間	15	成果	課の職員が事業の成果や目的を意識していますか？						4	4
終了	15	連携	この事業に必要な連携(局内・市長部局・委託業者等・県等)はできていますか？						3	3
手段	手段	目的達成に必要な手段や方法は、既成概念に囚われず、新たな視点で検討していますか？						4	4	
	可視化共有	目的達成に必要な手段や方法を、可視化し、情報共有していますか？						4	4	
中間	16	方法	当初計画や予定よりも優れた代替方法を検討していますか？						4	4
終了	16	目的化	この事業は、上位目的達成の手段として有効であることが、組織で理解されていますか？						4	4
工程	進め方	目的を達成する工程が、全体最適の視点から作られていますか？						4	4	
	合目的性	下水道使用者の視点に立ち、ニーズや利便性を反映した改善をしていますか？						4	4	
中間	16	学習	課題・問題点が発生したら、その都度、プロセス全体を検証し改善していますか？						4	4
終了	16	当事者意識	職員が主体的に行動していますか？						4	4
予算	利益	上下水道局の利益ばかりでなく、社会全体の利益まで意識していますか？						4	4	
	効果効率	より低いコストで成果をあげる工夫を施し予定以上の費用対効果を出していますか？						4	4	
中間	16	コスト検証	当初計画や予定よりも優れた代替方法による予算の効率的活用が常に検討されていますか？						4	4
終了	16	成果	成果指標を上まわっていますか？						4	4
期間	タイムマネジメント	工程を構造化したタイムスケジュールを可視化・共有し、停滞時間削減に取り組んでいますか？						3	3	
	タイムコスト	時間＝コストを意識し、ムリ・ムラ・ムダの検証を行っていますか？						4	4	
中間	13	期間の設定	業務集中を避け、局全体の事業執行を最適化するように期間を設定していますか？						3	4
終了	14	成果達成	短期間で成果を達成するよう、期間を検討し、進捗を確認、期間修正を行っていますか？						3	3

5 事後評価

指標					R1	R2	R3	
指標名	下水道処理人口普及率	単位	%	目標値	87.6	88.0	88.4	
算出式・根拠	(下水道処理区域内人口/行政人口)×100			実績値	87.6			
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				

視点	自己評価	評価根拠の説明(自己評価の根拠を具体的に記述します。不達成の場合は、原因、改善策を明示します。)	評価者結果
		A=予定以上の成果を上げた / B=予定通りの成果を上げた / C=成果は出ているが予定に達していない D=結果は出ているが成果は出していない / E=不十分な結果にとどまる、または結果が出ていない	
達成度	B	・下水道に関する幅広い分野の最新技術・機器等を展示している下水道展や、新工法説明会等に参加した。 ・道路工事調整会議やガス事業者等の他埋設企業からの事前協議書の確認を行い下水道管工事に支障を来さないよう、部内での情報共有を行った。	B
効率性	B	道路工事調整会議やガス事業者等の他埋設企業からの事前協議書の確認を行うことで、工事を効率的に行うことができた。	B
有効性	B	道路幅員が狭い場合や地下埋設物の影響などにより、下水道管を埋設する工事が難しい場所について効率的な整備方法を検討し、新工法の採用について研究することで、生活環境の改善や河川などの水質を保全することに貢献した。	B
説明責任	B	道路工事調整会議において下水道の工事箇所について説明をし、ガス事業者等他の埋設企業者との調整を行った。	B
組織学習	B	下水道展や新工法の研修等に積極的に参加することで、知識の向上を図った。	B
総合評価	B	下水道展や新工法の研修等に参加し、新工法の採用について研究した。また、下水道工事に支障を来さないよう、ガス事業者等他の埋設企業者と調整を行った。	B
		次年度方針 現状維持で継続	